

JICA 教師研修 学習指導案・授業実践報告書

【実践者】 田中由利子

氏名	田中由利子	学校名	東京都 日野市立日野第一小学校
担当教科等	総合的な学習の時間	対象学年（人数）	6年1組（34名）
実践年月日もしくは期間（時数）	令和4年9月～令和5年2月（34時間）		

【実践概要】

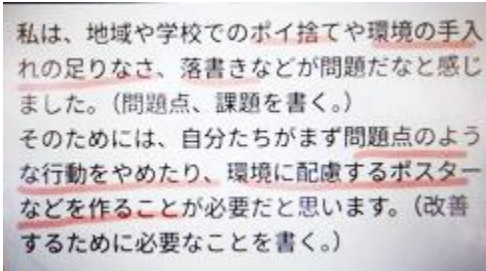
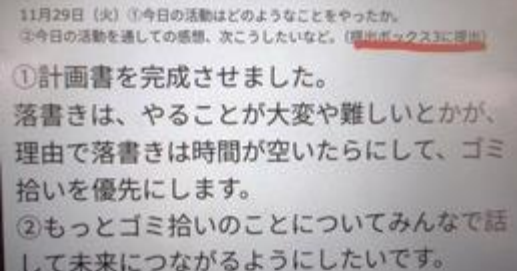
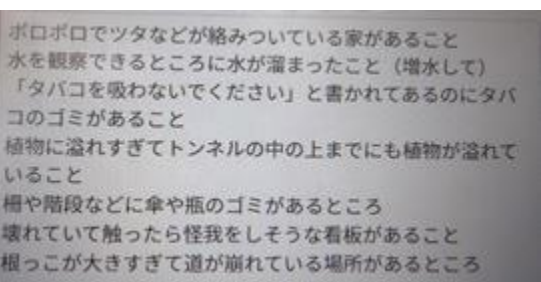
1. 実践する教科・領域：総合的な学習の時間	
2. 単元(活動)名：持続可能なひのいちづくり	
3. 授業テーマ（タイトル）と単元目標 授業テーマ：「持続可能な学校・地域づくり」～SDGsをふまえて～ 単元目標：身近にある環境問題や社会問題、人権問題などの社会問題とSDGs「17の目標」とのつながりに触れ、問題を解決するためにできることを協働的に考え、課題解決に必要な情報を集めたりしながら、自分に何ができるか積極的に考え、実践活動に取り組むことができる。	
4. 単元の評価 規準	①知識及び技能 ①調べ学習を通して、学校・家庭・地域における自分の生活を見つめ直し、持続可能な社会を実現するために必要な課題を設定している。 ②環境問題や人権問題等が自分や家族、社会の人、一人一人の考えや取り組みと深く関わっていることを理解している。
	②思考力、判断力、表現力等 ①収集した情報を必要に応じて取捨選択・整理し、自分たちにできることを考えるために、活用している。 ②伝える目的や相手に応じて、集めた情報や自分の考えを、筋道を立てて明確に表現し、伝えている。
	③学びに向かう力、人間性等 ①自分と社会とのかかわりや自分の生き方に気付き、未来のために自分ができることを考えようとしている。 ②自分と異なる意見や考えを生かしながら、協働的に探究活動に取り組もうとしている。
5. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)	<p>【単元設定の理由】 日野第一小学校の未来を自分事として考える児童の育成を目指す児童像として設定した。</p> <p>【単元の意義】 来年の150周年につながるよう、150年続いた歴史を大切にだけでなく、自分たちが下学年に対して、バトンを渡す気持ちを持ちながら、日野第一小学校の未来を自分事として考える児童を育てることが大切であると考える。</p> <p>【児童/生徒観】 最高学年として、日野第一小学校のために何かしたいという気持ちがある児童がある一方で、やらされている感が出ている児童もいる。また、やる気はあるが何をしたらよいか分からない児童もいる中で、自分事として考えることができるように児童の身近にあるものや環境から考えさせ、計画を立てていく。</p> <p>【指導観】 自分たちが大人になった時にどのような未来になってほしいか、どうしたら未来につながることができるかと考えることができるように、児童にどんなことをしたいか聞きながら、児童と一緒に計画を立てていく。</p>

6. 単元計画 (全34時間)				
	小単元名	学習のねらい	学習活動	資料など
1 次 5 時 間	①課題の設定 ②情報の収集 ③整理分析 ④振り返り	○社会問題とSDGsとのつながりを理解している。 ○社会問題を自分事として捉え、設定した課題の価値を見いだしている。 ○SDGsを学ぶ必要性について課題を発見し、解決に向けての見通しをもっている。	①課題の設定 「SDGsについて学ぼう」 ○SDGsを学ぶためのウェブサイト「Edutown SDGs」や子供向けの書籍等、各種コンテンツを活用し、SDGsの基本的知識について学ぶ。(1時間) ②情報の収集 ○社会問題とSDGs「17の目標」とのつながりについて考える。(2時間) ③整理・分析 ○調べてきた情報を共有し、伝え合い情報を整理する。自分のテーマについてどのようなことが関連するのか考え、整理する。(2時間) ④振り返り ○SDGsについての学びを振り返り、これからの生活で自分たちにできる活動について見通しをもつ。(1時間)	・Edutown SDGs ・17の目標のカード ・ワークシート
2 次 1 0 時 間	①新たな課題の設定 ②情報の収集 ③整理分析 ④振り返り	○日本や他国の取り組みについて、必要な情報を多様な方法で収集している。 ○調べ学習を通して、持続可能な社会を実現するための課題を設定している。 ○収集した情報を取捨選択し、課題を追究するために活用している。 ○収集した情報を関連付け、自分たちにできることを考えるために活用している。 ○自分と異なる意見や考えを生かしながら、協働的に探究活動に取り組もうとしている。	①新たな課題の設定 ○それぞれの問題の背景にある原因について、学んだことを基に情報を共有する。(1時間) ②情報の収集 ○新聞や書籍、インターネットなどから、日本や他国の取り組みや目的について調べる。(3時間) 【他教科との関連】 国語科「みんなで楽しく過ごすために」 ③整理・分析 ○収集した情報を取捨選択し、課題解決に向けた明確な目標・目的をもつ。(1時間) ○話し合いを通して、「自分たちにできること」について考え、追究していく具体的な内容や活動計画を決める。(3時間) ○テーマ別グループ間の交流をし、課題や解決策は、「自分たちの力で実現可能であるか」という視点で意見交換する。<検討	・Edutown SDGs ・17の目標のカード ・ワークシート

			<p>会①> (1時間)</p> <p>④振り返り</p> <p>○検討した内容を振り返り、問題点の原因や解決方法について話し合う。(1時間)</p>	
3次19時間	<p>①新たな課題の設定</p> <p>②情報の収集</p> <p>③実行・創造</p> <p>④整理分析</p> <p>⑤振り返り</p>	<p>○イメージマップや計画書を作成する中で、自分たちにできる取り組みと解決方法の見通しをもっている。</p> <p>○環境問題や人権問題が自分や家族、射会の人、一人一人の考えや取り組みと深く関わっていることを理解している。</p> <p>○自分と異なる意見や考えを生かしながら、協働的に探究活動に取り組もうとしている。</p> <p>○自分と社会との関わりや自分の生き方に気付き、未来のために自分ができることを考えようとしている。</p> <p>○環境問題や人権問題が自分や家族、社会の人、一人一人の考えや取り組みと深く関わっていることを理解している。</p> <p>○収集した情報を関連付け、自分たちにできることを考えるために活用している。</p> <p>○SDGsの「17の目標」と自分の生活</p>	<p>①新たな課題の設定</p> <p>「よりよい未来を創るために、『持続可能なひのいちづくり』を計画実行しよう」</p> <p>○イメージマップを作り、テーマや自分たちにできる取り組みについて再確認する。</p> <p>②情報の収集</p> <p>○イメージマップを基に、収集した情報を分類したり根拠付けたりしながら、「ひのいちづくり計画書」を構想する。(1時間)</p> <p>③実行・創造</p> <p>○「今の自分が何をしなければいけないか」「今の自分に何ができるか」。自分事を視点に、「ひのいちづくり計画書」を作る。(4時間)</p> <p>本時</p> <p>④整理・分析</p> <p>○テーマ別グループ間の交流をし、課題や解決策は「自分たちの力で実現可能であるか」という視点で意見交換する。<検討会②> (1時間)</p> <p>③実行創造</p> <p>○1人1人にできる取り組みを身近な生活と関連づけながら体験するための活動の準備に取り組む。(2時間)</p> <p>○体験を通して、よりよい未来を創るための「持続可能なひのいちづくり」を実践する。(4時間)</p> <p>③④まとめ・表現・実行</p> <p>○収集した情報や取り組みに向けた体験活動を具体的な根拠にしながら、ポスターセッション(スライド)の準備をする。(4時間)</p> <p>○ポスターセッション(スライド)を行い、SDGsの必要性について、根拠や理由を基に自分たちの考えを伝える。(2時間)</p>	<p>・ Edutown SDGs</p> <p>・ 17の目標のカード</p> <p>・ ワークシート</p>

	とのつながりやこれからの行動について理解している。	⑤振り返り ○SDGs についての学びを振り返り、これからの生活の中で自分たちにできる行動について、意見交換する。(1時間) 【他教科との関連】 社会科「世界の中の日本」 理科「生物と地球環境」	
7. 本時の展開「第3次」(6時間目) 本時のねらい：自分と異なる意見や考えを活かしながら、協働的に探究活動に取り組もうとしている。			
過程・時間	教員の働きかけ・発問および学習活動 ・指導形態	指導上の留意点 (支援)	資料(教材)
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・前時を振り返りながら、本時の課題を確認する。 ・前時の振り返りを数人分紹介する。 ・本時の授業の流れを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の振り返りの中から本時の課題につながる内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・ひのいちづくり計画書
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ別グループに分かれ、意見の交流をする。「自分たちの力で実現可能であるか」「持続可能なものか」という視点で意見交換する。 ・1グループだけでなく、他のグループとも交流し、意見交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの人数が多い場合は、少人数に設定し、一人一人が意見を出すことができるように設定する。 ・様々な意見と交換することで、協働的に活動ができるようにする。 	
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のグループに戻り、どのような意見が出たか意見交換をする。 ・実現をするためにどのようなことが必要か、良かった点や改善点をまとめ、振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の話し合いについて自分の思いを書くように伝える。 	
8. 評価規準に基づく本時の評価方法 活動の様子・ワークシート			
9. 学習方法及び外部との連携 フィールドワークやクロムブックを使った協働学習。児童から意見が出た場合は、外部との連携を行う。(日野用水を綺麗にするために、日野の環境課に連絡するなど)			
10. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組 1月に行われる校内研究にもつながる取り組みのため、自分事として考える児童が一人でも増えるよう高学年ブロックの先生方に助言をいただきながら、授業を実践していく。			

【自己評価】

<p>11. 苦勞した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修での学びをどのように授業と結び付けるか。 ・自分事として捉えさせるためにどのような授業づくりをしたらよいか。 ・一度のみの実行だけでなく、持続可能にするためにどのようにしたらよいか。 ・児童が主体的に課題を設定し、情報の収集や実行・創造、整理・分析をするためにどのように声をかけたり、計画を立てたりしたらよいか。
<p>12. 改善点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「SDGs」という言葉を大々的に掲げてしまった点。研修を受けてから SDGs はツールとして使うのがよいと学んだ。6年生ということもあり、自分たちの学びが SDGs につながっていることや、日常生活にも SDG が関わっていることに気付かせることができなかつたこと。 ・児童が「あれしたい!」「これしたい!」という思いをもち、計画を立てられることができなかつた。教師が敷いたレールに乗り、やらされている感が出てしまったこと。
<p>13. 成果が出た点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校周辺をフィールドワークしたことで地域の良い点や改善点などを目で見、まとめることができた。 ・実践するにあたり、「自分たちの力で実現可能であるか」、「持続可能であるか」の2つの視点をもちながら、計画書づくりを行った。そのため、児童の意見から「これは1回で終わっちゃう取り組みだよな。」や「これってできたらすごいけど、もっと身近なものから考えたほうがいいんじゃない。」などの意見が出た。自分たちの日常生活から課題を見つけ、取り組むことができた。 ・SDGs を事前に学習していたことで、ゴミを少なくするために「チラシを作ろう」という意見が出た際に、「もらった紙を捨ててしまう人もいるし、捨てられたらまたゴミになってしまう可能性があるよ。もったいないよ。」という意見が出た。SDGs と関連付けながら考えさせることができた。 ・地域住民の方が日野市をよりよくするためにに行っている取り組みを実際に教室に来て話してもらった時間を設けたことで、児童がより一層イメージを膨らませることができた。
<p>14. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>私は、地域や学校でのポイ捨てや環境の手入れの足りなさ、落書きなどが問題だなと感じました。(問題点、課題を書く。) そのため、自分たちがまず問題点のような行動をやめたり、環境に配慮するポスターなどを作ることが必要だと思います。(改善するために必要なことを書く。)</p> <p>↑ 課題の設定</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>11月29日(火) ①今日の活動はどのようなことをやったか。 ②今日の活動を通しての感想、次こうしたいなど。(提出ボックス3に提出)</p> <p>①計画書を完成させました。落書きは、やるが大変や難しいとかが、理由で落書きは時間が空いたらにして、ゴミ拾いを優先にします。</p> <p>②もっとゴミ拾いのことについてみんなで話して未来につながるようにしたいです。</p> <p>↑ 計画書づくりを通して</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;">  <p>ポロポロでツタなどが絡みついている家があること 水を観察できるところに水が溜まったこと(増水して) 「タバコを吸わないでください」と書かれてあるのにタバコのゴミがあること 植物に溢れすぎてトンネルの中の上までにも植物が溢れていること 柵や階段などに傘や瓶のゴミがあるところ 壊れていて触ったら怪我をしそうな看板があること 根っこが大きすぎて道が崩れている場所があるところ</p> <p>← フィールドワークを通して気付いたこと</p> </div>

	<p>↓フィールドワークを通して気付いたこと</p> 
<p>15. 授業者による自由記述</p>	<p>今回初めて参加させていただいたが、様々な視点から見ることで学びが深まったと感じる。SDGs 1つとってもたくさんの学び方があり、知識の得かたがあった。クルドの方から実際に話を伺ったり、東日本大震災で被災された地に実際に足を運んだりしたことで、共生文化や防災教育について考えを深めることもできた。</p> <p>実際に話を聞いてみて分かったこと、足を運んでみて気付いたこと、様々なことを学ばせていただいた研修であった。「学び続ける教師」を大切に、今後もこの学びを活かしながら教育活動に取り組んでいきたい。</p>

参考資料：教員のための SDGs 研修「JICA 東京」

未来の授業・私たちの SDGs 探究 BOOK「宣伝会議」

総合的な学習（探究）の時間のアイデア集「JICA 東京」